



【発行にあたって】

豊川市では、ファシリティマネジメントの取組みとして、老朽化した公共施設の更新時期に備え、保有総量の縮減や計画的な維持保全による長寿命化などの観点から「公共施設適正配置計画」を策定し、特に重点度・緊急度の高い地区として、小坂井地区、音羽地区、御津地区の3つの地区を選定しました。その中でも特に「小坂井地区」は、各公共施設が集中して立地し、老朽化や世代間交流、防災力の強化などの機能向上の面から早急な再編整備の検討が必要とされており、平成27年度は「小坂井エリア公共施設再編意見交換会」を設置し、小坂井地区の現状を整理し、再編の検討を進めてきました。前年度の検討内容を踏まえ、平成28年度からは、「小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会」を設置し、具体的な再編計画に伴う施設の組み合わせについて検討を行っています。

このニュースは、小坂井地区における公共施設の適正配置をはじめとするファシリティマネジメントに関する取組みについて、広く市民の皆さんに知っていただくことを目的に発行しています。小坂井地区における支所周辺施設の機能統合を含め、公共施設全体のあり方を市民の皆さんと共に考えていきたいと思います。今後ともご愛読いただき、ご意見をいただければ幸いです。



第1回 小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会を開催しました！

平成28年7月28日（木）に第1回小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会を開催しました。

これは、学識経験者や関係団体代表等で構成し、小坂井地区における公共施設再編整備基本計画の策定や地元住民との合意形成の推進を図るために議論する会議です。今年度は4回の開催を予定しており、小坂井庁舎や小坂井生涯学習会館をはじめとする再編対象施設について、必要な機能の組み合わせや配置等を検討し「小坂井地区公共施設再編整備基本計画」を取りまとめることとしています。

【第1回策定委員会の内容】

- 1 開会
- 2 本策定委員会について
- 3 副市長挨拶
- 4 委員長の互選
- 5 副委員長の指名
- 6 議事
 - (1) 小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定業務の概要及び必要性
 - (2) 小坂井地区の概要と公共施設再編の進め方
 - (3) 小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能の整理と再編の基本的な考え方
 - (4) 地元住民ワークショップ及び住民アンケート
- 7 その他
- 8 閉会



副市長挨拶

冒頭の副市長からは、「本市の将来的な人口減少の傾向もふまえ、公共施設の統廃合はやむを得ないが、統廃合するからには地域に愛される施設にしていくことが自治体の大きな責務であるとの認識のもと、策定委員会では、委員の方々から忌憚のない意見をいただきつつ、市事務局と一丸となってより良い基本計画が策定されるように努力していきたい」と挨拶がありました。



委員長、副委員長の選定

策定委員会は、学識経験者や関係団体代表など 13 名の委員によって組織されています。委員長には愛知大学教授の阿部聖氏、副委員長には豊橋技術科学大学教授の松島史朗氏が選出されました。

阿部委員長からは、「地域の皆さんの生活に直結する重要な意味を持つ会議であり、皆さまの協力を仰ぎながらなるべく良い基本計画を作っていけるように努力していきたい」と挨拶がありました。

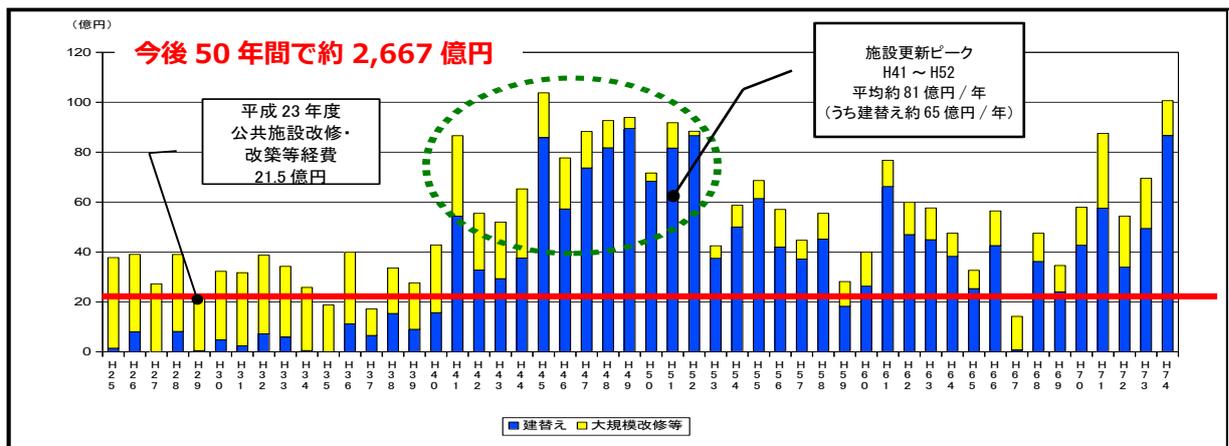


小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定業務の概要及び必要性について

本市では昭和 40 年代以降の高度経済成長、人口増加に伴い整備されてきた公共施設や、平成に入りバブル崩壊後の景気対策により整備されてきた公共施設などが、施設の老朽化の進行等により、まとまった形で建て替えや大規模改修が必要となり、それに伴い多額の費用が発生することが予測されます。

豊川市には現在 59 万 2 千㎡の公共施設（病院、職員宿舎は除く。）があり、市の試算によると現状の維持更新費用は、平成 23 年度決算時で 21.5 億円であり、今後も大規模修繕などにより 20~40 億円の範囲で推移し、更新ピークとなる平成 41~52 年においては、平均約 81 億円が必要とされており、さらに今後 50 年間は総額約 2,667 億円が必要であるとされています。市の財政事情に加え、将来的な扶助費などの社会保障関係費も年々増加することが予想され、公共施設にかかる維持更新費用に多くの予算を振り分けることが困難となります。

◆公共施設にかかる将来費用予測



出典：豊川市公共施設の削減目標及び用途別における施設の方向性

よって本市では、平成 25 年度に公共施設全体の適正配置に向けた削減目標を定める「公共施設の削減目標及び用途別における施設の方向性(適正配置基本方針)」を策定し、「公共施設の縮減目標（今後 50 年間で市の保有面積を 30%削減、年平均トータルコストを 43%削減）」や「適正配置計画の基本的な考え方（保有総量の縮減、計画的な維持保全による長寿命化等）」について方針を定めました。



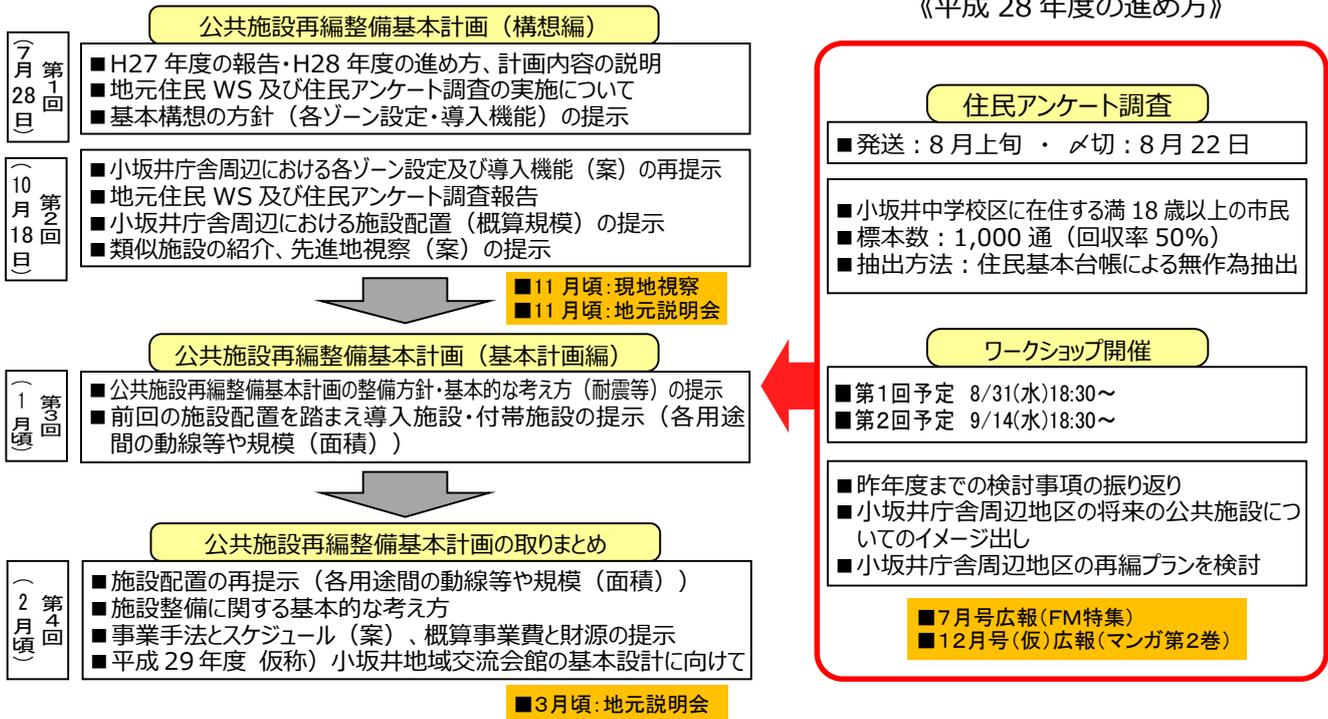
小坂井地区の概要と公共施設再編の進め方について

平成 27 年度には、「公共施設適正配置計画基本方針（豊川市公共施設の削減目標及び用途別における施設の方向性）」で示した理念や考え方に基づき、今後おおよそ 10 年間の具体的な取組となる「公共施設適正配置計画」を策定し、今後 10 年間に重点的に取り組み、展開する施設用途として、「庁舎」、「コミュニティ施設」、「学校教育施設」の 3 つを選定し、適正配置に向けた個別方針を示しました。この 3 つの重点取組を通じて市全体で対策を進めていく一方で、地域単位で重点取組にかかる施設を中心とした公共施設再編を進めていく上で、重点度・緊急度が高い 3 地区での取り組み・事業をリーディング事業（先導的事业）として位置付けています。（小坂井地区、音羽地区、御津地区の 3 地区）

小坂井地区には、中核を担う小坂井庁舎の建物や設備は著しく老朽化し、活用できていないスペースも多く、小坂井庁舎周辺には、地域交流施設として生涯学習会館や小中学校、児童館、保育園、児童クラブなど地域の子育て支援機能も集中して立地しています。

よって、これらの庁舎を含めた周辺の公共施設全体を地域開放、世代間交流や防災力の強化などの機能向上に向けての再編整備の検討が必要とされ、庁舎周辺施設を機能統合し、「(仮称)小坂井コミュニティネットワーク構想」の実現に向けて動き出しました。今年度の「小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会」では、具体的な再編計画に伴う施設の組み合わせについて検討を行っています。

《平成 28 年度の進め方》



今年度基本計画策定委員会の成果

右の再編対象施設について、必要な機能の組み合わせや配置等を検討し決定します。

小坂井庁舎、小坂井生涯学習会館、小坂井図書館、小坂井東保育園、こごかい児童館、小坂井東小学校区児童クラブ、小坂井東小学校



地元住民ワークショップ及び住民アンケート

ワークショップの開催

【ワークショップの目的】

小坂井地区における将来の公共施設のあり方を考えるため、地域の方々と一緒に検討する場を設けます。

【第 1 回開催】

8/31(水)18:30～

【第 2 回開催予定】

9/14(水)18:30～

【場所:小坂井生涯学習会館 3階研修室】

住民アンケートの実施

【アンケートの趣旨】

小坂井地域内にお住まいの 18 歳以上の方々から、無作為に抽出した 1,000 人を対象に、日常の公共施設の利用状況や小坂井地域での暮らしについてお考えなどを聞き、今後の計画策定へ反映させていくために実施するものです。

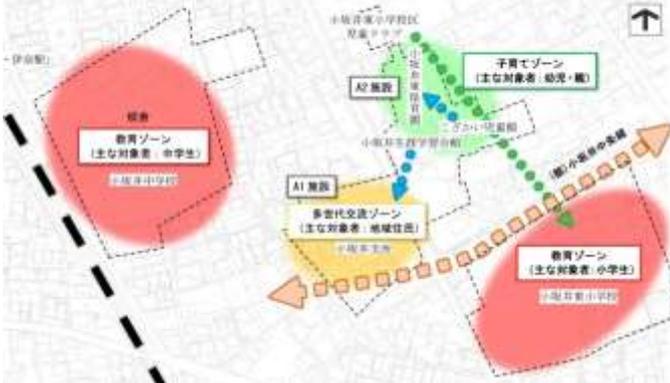
★ご協力ありがとうございました！



小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能の整理と再編の基本的な考え方

昨年度に実施した「小坂井エリア公共施設再編意見交換会」をふまえて3つの再編プランを提示しました

【A案】



方針	<ul style="list-style-type: none"> ● A 1 施設は、小坂井庁舎や小坂井生涯学習会館及び小坂井図書館を複合化させた案 ● A 2 施設は、小坂井東保育園とこごかい児童館を複合化させた案 ● 小坂井東児童クラブは小坂井東小学校の校舎内に複合化を検討
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 支所機能、貸室機能、コミュニティ機能、図書館機能 ● 児童館機能、保育機能
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 不特定多数が利用する施設と利用者が限定される施設をそれぞれ独立して複合化することが可能 ● 子育て支援施設を1つの建物に集約可能であり、子育て中の保護者の利便性が向上
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合化された施設が2つとなるため、共有スペースの共通化による削減効果は、他案より小さくなる ● 複合化された施設が2つとなるため、建設コストアップが予想
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 再編にかかる建設コストは最も大きい、複合化された施設が支所を中心とした一般機能と児童福祉機能で明確に分けられ利用上のメリットは大きい

【B案】



方針	<ul style="list-style-type: none"> ● B 施設は、小坂井庁舎や小坂井生涯学習会館及び小坂井図書館、こごかい児童館、小坂井東保育園を複合化させた案 ● 小坂井東児童クラブは小坂井東小学校の校舎内に複合化を検討
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 支所機能、貸室機能、コミュニティ機能、図書館機能、児童館機能、保育機能
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 園児から小中学生、高齢者に至るまで新たな多世代交流や地域活動の促進 ● 保育園等の跡地活用による財政面への貢献
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に保育園と一般利用施設間のセキュリティ確保が必要 ● 屋上あるいは敷地内に保育園の園庭スペースを確保する必要あり(2才以上児数×3.30㎡以上)
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な機能を一つの施設に集約することで再編にかかる建設コストのメリットは大きい、特に保育園と一般施設の利用上におけるセキュリティ確保の問題が大きな課題。

【C案】



方針	<ul style="list-style-type: none"> ● C 1 施設は、小坂井庁舎や小坂井生涯学習会館及び小坂井図書館、こごかい児童館を複合化させた案 ● C 2 施設は小坂井東保育園を単独での建替え等を検討した案 ● 小坂井東児童クラブは小坂井東小学校の校舎内に複合化を検討
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 支所機能、貸室機能、コミュニティ機能、図書館機能、児童館機能 ● 保育機能
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● A案に児童館機能付加することで多世代交流の促進を図ることが可能 ● 保育機能を独立させることで、将来的な児童の増減に対して柔軟な対応が可能
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園が単独での建て替えとなるため、B案と比べ建設コストアップが予想
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● B案から保育園機能を別施設とすることで、セキュリティ確保の問題を解消。機能再編による利用上のメリットがあり、建設コストもA案より抑えられる

本委員会で検討した結果、C案をベースに今後進めていくことに決まりました！

【小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会は公開しています】

次回以降の策定委員会も公開で開催します。傍聴を希望される方は、市ホームページにて、順次ご案内していく予定ですのでご覧ください。

また、会議の資料等も市ホームページで公開してまいりますので、是非ご覧ください。

<問い合わせ先>

豊川市総務部財産管理課

電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/kanzaikeiyakuka2015.html>

